

育休男子の MIC女性連絡会春の学習会

# ホネとタマエ



「イクメン」の現実を披露

「イクメン」の現実を披露  
 全田雄連の井  
 深智史さんは生  
 後一〇カ月の長  
 女を抱え、まさ  
 に子育て真っ最  
 中です。お子さ  
 んが生まれたの  
 が東日本大震災  
 の二日後で、東

民放労連の確水和尚さんは  
 労連の委員長を務めてい  
 た当時、次男の育児休業を  
 奥様と交替で六カ月間取得  
 しました。確水さんは、育

休を取った経験のあ  
 る男性をハネリ  
 ストに迎え、サ  
 でに流行語とし  
 て定着している  
 「イクメン」の  
 実情を語っても  
 らいました。

保に奔走したそうです。会  
 社では男性の育児取得第一  
 号でしたが、労働組合女性  
 部の応援に加えて、職場も  
 理解ある対応をしてくれた  
 ことで、育児に主体的に取  
 り組むことができた、と話  
 していました。

京電力福島第一原子力発電  
 所の事故で東京の水道水か  
 らも放射性物質が検出され  
 たことから、赤ちゃんのミ  
 ルクを作るために、大きな  
 余震も続く中、飲み水の確



女性協議会

●女性協  
 URL  
<http://www.minpororen.jp/women/index.html>

育児中の時間を利用し  
 て、上のお子さんのせん息  
 治療のための水泳教室通い  
 や、車の大型免許・けん引  
 免許などの資格も取った、  
 ということでした。

進行役は民放労連書記次  
 長の岩崎白明さんが務めま  
 したが、岩崎さんはテレビ  
 朝日報道局勤務当時に二カ  
 月間の育児を取得したとこ  
 ろ、職場復帰後に一時金が  
 マイナス査定され、抗議し

て元の評価に戻させたこと  
 もあったそうです。

会場の参加者からは「イ  
 クメンというからちょっと若  
 い人かと思った」という感  
 想も聞かれましたが、「周  
 りの男性から何か言われな  
 かったか」「男性が育児を  
 取りやすくなるためにはど  
 うしたらいいと思うか」な  
 どさまざまな質問も出さ  
 れ、ハネリストとの間で意  
 見交換しました。